

しもつがの「まなびの WA！」

令和7年8月29日

「WA！」には、輪、和、話、環などの意味合いを含め、管内の学校や教職員のつながり、温かい交流、情報交換の広がりなどをイメージしています。

発行：栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所

特別第2号

阿部 所長のお薦めする本・音楽

① 君たちはどう生きるか 吉野源三郎 岩波文庫

「君たちはどう生きるか」は、1937年に吉野源三郎によって書かれた小説（漫画もあります）で、主人公のコペル君こと本田潤一が、叔父との対話を通じて人生や社会について深く考え、成長していく物語です。この作品は、戦前の日本において若者に自由で進歩的な考え方を伝えるために書かれたものですが、今でも多くの人に影響を与え続けています。読むことで、**社会の仕組みや人間の価値について深く考え、自分の人生をどう生きるかを問い直すきっかけになる**のではないのでしょうか。



② 15歳からのリーダー養成講座 工藤勇一 幻冬舎

リーダーシップの基本を中学生も学ぶことができる本です。元校長である工藤勇一さんが生徒たちに直接講義した「リーダーシップの基本」をまとめた全8回の特別授業が収録されています。リーダーシップとは何かという基本の話、チームのまとめ方、プロジェクトの進め方、対立解消の仕方、人の心に届く言葉の選び方など、リーダーになるために特に知っておいてほしいポイントが書かれています。工藤さんは、**リーダーシップはこの社会で生きるすべての人に必要なもの**と言っています。この本を読んで、人と関わりながら生きていく術について考えてみると面白いと思います。



③ 強いチームはなぜ「明るい」のか 吉岡眞司 幻冬舎新書

『強いチームはなぜ「明るい」のか』は、慶應義塾高校野球部を107年ぶりの甲子園優勝へと導いたメンタル術について、慶應義塾高校野球部や慶應義塾体育会野球部のメンタルコーチ吉岡眞司氏が書いた本です。チームの雰囲気をも明るく保つことが成功につながる理由を解説し、対戦相手のファインプレーにも拍手を送ることや苦しい状況でも前向きな言葉をかけるなど、**ポジティブな言動が結果を良い方向へ導くこと**を示しています。また、メンタル強化の具体的な方法、技術も紹介されています。スポーツだけでなく、仕事や日常生活にも応用できます。明るく前向きに！大切なことですね。



④ ケセラセラ Mrs. GREEN APPLE

Mrs. GREEN APPLEの『ケセラセラ』は、第65回日本レコード大賞を受賞し、2023年の顔となった楽曲です。「ケセラセラ」とは、スペインの言葉で「なるようになる」という意味です。生きていく中で、どうしてもグッと堪えなければいけない局面、肩を落とす瞬間、たくさんあると思いますが、なるようになる。良いとか悪いとかではなく、なるようになるということです。**聴いていると、力強く奮い立たせてもらえるとともに、心を掬い上げるポジティブな歌詞に元気と安心感を**もらえます。自分の好きな応援ソング、見つけてみてください。

吉田 学校支援課長 のお薦めする本

① 木のいのち 木のころ 西岡常一 小川三夫 塩野米松 新潮社 2005

宮大工として法隆寺昭和大修理に挑み、薬師寺金堂や西塔などを復元再興した名匠、西岡常一氏や、西岡常一氏のもとで修行した内弟子小川三夫氏のことばが多数掲載されています。「大工というのは仕事ですが、その前に人間なんです。大工という仕事をもった人間なんです。すべてにいいかげんではいかんのです。どこかがいいかげんなら、それが仕事に出ますから。」
「その木の生きてきた環境、その木のもっている特質を生かしてやらな、たとえ名材といえども無駄になってしまいますわ。ちょっとした気配りのなさが、これまで生きてきた木の命を無駄にしてしまうことになるんやから、われわれは十分に考えななりませんわ。」



西岡常一氏の内弟子である小川三夫氏（栃木県出身）率いる徒弟制度の宮大工集団「鵜工舎」の若者たちが、宮大工として人間として大きく育っていく姿を描く場面は、とても圧巻です。**ものの見方や考え方、学ぶということ、教えるということ、生き方の根本にふれる大切なこと等を、わかりやすい言葉で伝えてくれる名著**です。仕事をするとはどういうことかを考える上で、多くの示唆を学べると思います。

② 7000人の子の命を救った心臓外科医 高橋幸宏 到知出版社 2020

20年間にわたり心臓手術数日本一を記録する榊原記念病院において、七千例以上の執刀経験をもち 98.7%の成功率を誇る高橋幸宏医師の人生を綴った名著です。医療の現場で著者が大切にしてきた仕事の流儀をわかりやすい言葉でまとめています。

準備やルーティンの重要性、集中力をいかに持続させるか、想定外の事態への対処、良好なコミュニケーションの核となるもの等々、匠としての生き方にふれるたび、自身の魂が揺さぶられ、勇気づけられました。最も注目したことは、**心臓手術の緊迫した場面から紡ぎ出された多くの知恵とマインドは、手術室の中だけにとどまらず、異種他職業の人々のビジネスの現場にも通用する**という点。たった一つの命を救うために、全身全霊で命に向き合う人生を選択した高橋医師の姿に、たくさんの示唆と勇気をいただきました。



③ 虹色のチョーク 働く幸せを実現した町工場の奇跡 小松 成美 幻冬舎

川崎市にある1937年創業の日本理化学工業は、チョークをはじめとした文房具・事務用品の製造販売を行う企業です。同社は障害者雇用に力を入れていることでも知られ、生産ラインを多くの知的障害者の方々が支えており、「日本でいちばん大切にしたい会社」と注目される企業です。その一方、経営者だけでなく社員の家族に語りきれぬ多くの苦悩と葛藤があり、悩み続けた日々が綴られています。「**人間の究極の幸せは、①愛されること、②褒められること、③役立つこと、④必要にされること。施設や家庭でできるのは①だけで、②や③や④は社会の中で働くことでしか得られない。**」という同社前会長の大山泰弘氏のことばには多くの感銘を受けました。働く幸せや生きる喜びに満ち溢れたノンフィクションです。

